

令和 7 年度

「運営に関する計画」

小中一貫校 むくのき学園

大阪市立啓発小学校

大阪市立中島中学校

令和 7（2025）年 4 月

小中一貫校 むくのき学園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、平成 26 年度に大阪市で 2 番目の全市募集による施設一体型小中一貫校として開校した。開校前の啓発小学校と中島中学校は、長年にわたり、きびしい学力状況と困難な生活指導を課題として抱える学校であった。しかしながら、地域と連携し、丁寧できめ細かい対応を日々続けることで、状況の改善を図り、児童生徒の心の拠り所となる「温かな学校」を学校文化として育んできた。また、長年にわたり、多様な人権教育の取り組みを推進することで、高い人権意識と豊かな心の育成を図ってきた。

小中一貫校開校時は、大阪市教育振興基本計画に示されていた多岐にわたる教育改革施策を現場において研究・推進する「大阪市教育改革総合モデル校」の役割を期待される立場であった。その中で、小中学校の円滑な接続と、小中の教職員の協働、ICT を活用した教育活動、新しい英語教育、自校調理の中学校給食など新たな課題への対応に迫られた。それぞれ違う環境の中で過ごしてきた小中学校の教職員が、小中共通の組織目標のもと、主体的・能動的に協働する姿が現在では自然となり、組織的に取組を推進できるようになった。

小中学校の全国学力・学習状況調査、大阪府中学生チャレンジテスト等での学力到達度を示す数値は、着実に向上はつづけているものの、まだまだ課題も多い。また、全市募集を行うなかで、不登校など様々な課題を抱える生徒の 7 年生編入、支援が必要な児童生徒の増加に伴う支援体制の維持など、新たな課題も出てきている。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 85%、中学校 82%以上にする。

【基本的な方向 1：安全・安心な教育環境の実現】

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 96%、中学校 95%以上にする。

【基本的な方向 2：豊かな心の育成】

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校、中学校ともに 77%以上にする。

【基本的な方向 2：豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査において、平均正答率の対全国比を小学校国語・算数、中学校国語・数学のすべてで、1.00 以上にする。

【基本的な方向 4：誰一人取り残さない学力の向上】

○令和 7 年度の大阪市英語力調査において、CEFR A1 レベル(英検 3 級)相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 56%以上にする。

【基本的な方向 4：誰一人取り残さない学力の向上】

○令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を小学校男子・女子ともに 1.00 以上、中学校男子・女子ともに 1.01 以上にする

【基本的な方向 5：健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 7 年度の授業日において、児童生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕

【基本的な方向 6：教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる令和 7 年度の教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 82%以上にする。

【基本的な方向 7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

○令和 7 年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 79%以上にする。

【基本的な方向 8：生涯学習の支援】

○令和 7 年度末の保護者アンケートの「PTA 活動や学校支援活動には、時間の都合がつけば、積極的に参加したいと思う」の項目について、令和 3 年度（小学校：45.8%、中学校：50%）より 5 ポイント増加させる。

【基本的な方向 9：家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

(小学校)

・令和7年度の小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【基本的な方向1：安全・安心な教育環境の実現】

・令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。

【基本的な方向2：豊かな心の育成】

・令和7年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。

【基本的な方向2：豊かな心の育成】

(中学校)

・令和7年度の校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。

【基本的な方向1：安全・安心な教育環境の実現】

・令和7年度の校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。

【基本的な方向2：豊かな心の育成】

・令和7年度の校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を77%以上にする。

【基本的な方向2：豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

(小学校)

・令和7年度の小学校学力経年調査において、平均正答率の対全国比を国語・算数ともに前年度より0.01ポイント以上向上させる。

【基本的な方向4：誰一人取り残さない学力の向上】

・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を男子・女子ともに前年度より0.01ポイント以上向上させる。

【基本的な方向5：健やかな体の育成】

(中学校)

・令和7年度の全国学力・学習状況調査において、平均正答率の対全国比を国語・数学ともに前年度より0.01ポイント以上向上させる。

【基本的な方向4：誰一人取り残さない学力の向上】

・令和7年度の大阪市英語力調査において、CEFR A1 レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を78%以上にする。

【基本的な方向4：誰一人取り残さない学力の向上】

・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を男子・女子ともに前年度より0.01ポイント以上向上させる。

【基本的な方向5：健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度の授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕

【基本的な方向6：教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる令和7年度の教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を90%以上にする。

【基本的な方向7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

- ・令和7年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を80%以上にする。

【基本的な方向8：生涯学習の支援】

- ・令和7年度末の保護者アンケートの「PTA 活動や学校支援活動には、時間の都合がつけば、積極的に参加したいと思う」の項目について、令和3年度（小学校：45.8%、中学校：50%）より5ポイント増加させる。

【基本的な方向9：家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

【その他】

- ・小中一貫教育の強みを最大限に生かす中で、ちがいを認め合い個性や能力を伸ばす教育の推進を図り、全市募集による入学希望者数を含め、新1年生の複数学級を維持する。

【基本的な方向9：家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

3 本年度の自己評価結果の総括

--

小中一貫校むくのき学園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 (小学校) ・令和7年度の小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 ・令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。 ・令和7年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。 (中学校) ・令和7年度の校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。 ・令和7年度の校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。 ・令和7年度の校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を77%以上にする。		
生活指導部	取組内容①【基本的な方向1:安全・安心な教育環境の実現】 なかまについて考える取組を企画し、他の人の立場に立ち物事を考えることのできる集団を育成する。また、職員アンケートなどを通して、児童生徒との関わりのなかで有用であると感じられる取組の情報共有を図る。	
	指標 学校診断アンケートの「人を傷つけるような言葉や行動を許さない学年になっていると思う。(小学校)」の項目において、肯定的回答の割合を80%以上にする。 「学校は、いじめや暴力行為を許さない安心できる場所になっている。(中学校)」の項目において、肯定的回答の割合を83%以上にする。	
生活指導部	取組内容②【基本的な方向1:安全・安心な教育環境の実現】 自律的な生活習慣や規範意識を育成し、集団生活を通じて社会連帯の基礎を養う。特に、むくのき学園の決まりを年度当初に確認し、教室掲示など、児童会・生徒会を中心に決まりの徹底を図る。	
	指標 むくのき学園のきまりをもとに指導のあり方を共有しながら、さまざまな場面での児童生徒の規範意識を高め、「むくのき学園の決まりを守っている。(小中学校)」の項目において、肯定的回答の割合を小学校90%、中学校95%以上にする。	

共生部	<p>取組内容③【基本的な方向２：豊かな心の育成】</p> <p>小中一貫校として９年間を見通した系統的な人権教育を推進し、豊かな人権感覚を育てる。</p>	
	<p>指標</p> <p>人権教育推進にかかわる年間方針、人権教育確認事項をもとに、学校生活全般において人権を意識した教育を行い、人権課題に関わる取組を年間計画にそって各学年で取り組む。</p>	
生活指導部	<p>取組内容④【基本的な方向２：豊かな心の育成】</p> <p>一人一人に役割を与えて活躍の場をつくり、達成感・充実感を味わうことで、自己有用感・自尊感情を育む。また、職員アンケートなどを通して、児童生徒との関わりの中かで有用であると感じられる取組の情報共有を図る。</p>	
	<p>指標</p> <p>学校診断アンケートの「自分にはよいところ（得意なこと）がある。」の項目について、肯定的回答の割合を小学校 85% 中学校 80% 以上にする。</p>	
健康教育・庶務部	<p>取組内容⑤【基本的な方向１：安全安心な教育環境の実現】</p> <p>児童生徒がものを大切に扱うことができるように、清掃用具の管理や取り扱いについて共通認識を図る取組をおこなう。</p>	
	<p>指標</p> <p>学校診断アンケートの「責任をもって係や当番活動をしたり、みんなと協力して清掃活動に取り組んだりしている（小学校）」、「学校のものを大切に扱い、自分の役割に責任を持ち、みんなと協力をして清掃活動に取り組んでいる（中学校）」の項目について、肯定的な回答の割合を 90% 以上にする。</p>	
	<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
	<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p> <p>【取組内容③】</p> <p>【取組内容④】</p> <p>【取組内容⑤】</p>	
	<p>後期への改善点</p>	
	<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p> <p>【取組内容③】</p> <p>【取組内容④】</p> <p>【取組内容⑤】</p>	

(様式2)

小中一貫校むくのき学園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の小学校学力経年調査において、平均正答率の対全国比を国語・算数ともに前年度より0.01ポイント以上向上させる。 ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を男子・女子ともに前年度より0.01ポイント以上向上させる。 <p>(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の全国学力・学習状況調査において、平均正答率の対全国比を国語・数学ともに前年度より0.01ポイント以上向上させる。 ・令和7年度の大阪市英語力調査において、CEFR A1 レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を78%以上にする。 ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を男子・女子ともに前年度より0.01ポイント以上向上させる。 	

	年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
研究部	<p>取組内容①【基本的な方向4：誰一人取り残さない学力の増加】</p> <p>児童生徒一人一人が個々の目標に主体的に取り組む環境を作る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>算数・数学科プリント・デジタルドリルに取り組む。</p> <p>年間目標 小学校(低学年)…80回、(中学年)…80回、(高学年)…80回 中学校…100回</p>	
研究部	<p>取組内容②【基本的な方向4：誰一人取り残さない学力の増加】</p> <p>授業における能動的な活動の充実を図り、児童生徒が発達段階に応じた形で、グループディスカッション・ディベート・グループワーク等、協働して課題の発見・解決ができる場を設定するなど、主体的・協働的に学習に取り組めるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学校診断アンケートにおいて、「自分の考えをペアやグループ活動で説明したり話し合ったりしている(小学校)」、「授業では自分の考えを発表する機会がよく与えられている(中学校)」、「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている(中学校)」の項目について、肯定的な回答を80%以上にする。</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向5：健やかな体の育成】</p> <p>(小学校)児童が意欲的に運動に取り組めるよう、運動する機会を増やす。</p> <p>(中学校)基本的な生活習慣を定着させる取組を行い、健やかな体の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>(小学校)学校診断アンケートにおいて「クラブ活動や体育の授業、休み時間など、運動することは楽しい」の項目について、肯定的回答率を90%以上にできるよう運動への意欲を高める取組を実施する。</p> <p>(中学校)学校診断アンケートにおいて「朝食を毎日食べている」の項目について、肯定的回答率を80%以上にできるよう、基本的な生活習慣の確立をめざした取組を実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p> <p>【取組内容③】</p>	
後期への改善点	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p> <p>【取組内容③】</p>	

(様式 2)

小中一貫校むくのき学園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 7 年度の授業日において、児童生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕 ・ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる令和 7 年度の教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 90% 以上にする。 ・ 令和 7 年度末の校内調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を 80% 以上にする。 ・ 令和 7 年度末の保護者アンケートの「PTA 活動や学校支援活動には、時間の都合がつけば、積極的に参加したいと思う」の項目について、令和 3 年度（小学校：45.8%、中学校：50%）より 5 ポイント増加させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
教務部	<p>取組内容①【基本的な方向 6：教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>ICT 機器の利活用推進の為、教職員、児童、生徒が負担なく使用できるように環境を整備する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>「学習者用端末活用率表」における、児童生徒の学習者用端末（クロームブック）の月別活用率を小中ともに 75% 以上を維持にする。</p>	
	<p>取組内容②【基本的な方向 8：生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館や学級文庫に児童生徒の興味のある書籍を充実させ、児童生徒に読書習慣を身につけさせる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館司書と協力して、月に 1 度程度、児童生徒の学年に応じた推薦図書を紹介する。 ・ 学校図書館、巡回図書、学級文庫等を活用して、小学校では読書の時間を週 1 回、中学生では朝読書の時間を週 3 回程度設け、読書する習慣を身につけさせる。 ・ 中学校：学校診断アンケートの、「ふだんから家や教室で読書をしている」40.6%、「教室や図書室の本を利用している」31.4%の項目について（数字は令和 6 年度の肯定的回答率）それぞれ 2 ポイント増加させる。 ・ 小学校：学校診断アンケートの、「ふだんから家や教室で読書をしている」、「教室や図書室の本を利用している」の項目についての肯定的回答をそれぞれ 50% 程度、70% 程度とする。 	
研究部		

<p>取組内容③【基本的な方向7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>各月の行事予定に「ゆとりの日」を毎週木曜日に記載し、職員朝礼においてもアナウンスし、時間外勤務時間の減少を促進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>毎月の「教員の一人当たり平均時間外勤務時間」の本校の平均時間（累計）が、小中ともに昨年度状況を下回る。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p> <p>【取組内容③】</p>	
後期への改善点	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p> <p>【取組内容③】</p>	

(様式2)

小中一貫校むくのき学園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【その他】 ○小中一貫教育の強みを最大限に生かす中で、ちがいを認め合い個性や能力を伸ばす教育の推進を図り、全市募集による入学希望者数を含め、新1年生の複数学級を維持する。	

	年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成 状況
研究部	取組内容①【基本的な方向4：誰一人取り残さない学力の向上】 【基本的な方向7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 小学校からの一貫性を生かした学びに連続性をもたせ、効果的な小中協働授業を行う。 ----- 指標 ・入り込みなどを通して小中学校教員で小中協働授業をおこない、学校診断アンケートの小中一貫した教育に関する質問での肯定的回答率を80%以上にする。 ・1年に1回程度、小中同じ教科・領域の教員で情報交換・情報共有を行う。 ・相互授業参観を設定し、小中の教員がそれぞれ1回以上参観する。	
	取組内容②【基本的な方向9：家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 区役所・地域・各支援機関との連携や、スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーとの連携を円滑に行うことで、各家庭と信頼関係を構築する。ミマモルメを効率的に利用し、情報発信・情報提供を行う。 ----- 指標 保護者による学校診断アンケートにおいて、小中ともに「先生たちは子どもや保護者が困ったときに相談にのり、対応している」「子どもたちの健全な育成には、学校・保護者・地域の連携がとても大切である」のそれぞれの項目において、いずれも95%以上にする。	
管理職	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
	【取組内容①】 【取組内容②】	
	次年度への改善点	
	【取組内容①】 【取組内容②】	